



Rockport Technologies Turn Table

Capella II

愛聴盤レコードを最新の装置で楽しみたい。できれば、最新のCDプレーヤーを越える音質で再生したい。アナログレコードはそれでこそその存在価値があるというもの。ノイズのないCDに慣れ親しんできた故に、LP再生でもできる限り耳につくノイズは聴きたくはない。そんな贅沢な私の要求に見合うプレーヤーはこれしかないという。本当だろうか。よく見て、よく聴き、じっくり検討しよう。思い出のつまったレコードを最高の演奏で再現してみたいのだから。

ロックポートのプレーヤーシステムは私たちに失われた時間を取り戻させてくれます。長年愛聴したLPを現在の最高水準の音でよみがえらせてくれるからです。今までのプレーヤーとは一線を画する今世紀最後の最高の機器です。プレーヤーに加え、アーム、ヴァキュームスタビライザー、エアベアリングなどオプション仕様を用意されています。さあ、眠っているLPからはその時代の思い出を、最新のLPからはCDでは得られないスムーズでしなやかな迫力あるパフォーマンス楽しんでみましょう。

カペラ2

ターンテーブルベース

ファイバー補強レジンによって覆われたモノコック構造のベースは超高密度鉱物混入エポキシ材をコア材に使用し、高度な剛性を備えています。ベースはスピンドルベアリング、モーターマウントプレート、トーンアームマウント構成部をしっかりと格納するようにモールド形成されています。さらに炭素微粒子によりコーティングされた上、ハイグロスクリアーコートで大変美しく仕上げられています。ベース重量は約40kgで、音響的振動に対して実質的に、ほぼ無限大の慣性を備えていると言えます。モーターマウントプレート、トーンアームマウントプレート、メインスピンドルベアリングマウントは非共振ハードアルミニウム合金鋼を複数層に仕上げ、相乗効果によって複雑な複合非共振層を構成します。その結果ベースは硬度、質量、慣性イナーシャの面でも共振を排除した非均一性の複雑な複合体となっています。

ブラッター

高硬度のブラッター本体も複雑な構成です。メインハウジングは直径30.5cmハードアルミバーより削り出し、アクリルを高硬度圧着したレイヤー構造とし、更に高ロス粘弾材をサンド

イッチ構造にしたために、それ自体が不活性構造となっています。レコード接地面はロックポート独自の開発による高ヒステリシスウレタンコーティングでレコードの表面共振や微振動を大幅に低減し、レコード溝からの振動を取り除くという優れた性能があります。オーディオ帯域においても動的機械インピーダンスは、レコード/ブラッターインターフェイスの最大エネルギー伝達係数に理想的に合致しています。すなわち、レコード表面の振動エネルギーを分子構造レベルの摩擦熱として効果的に消滅させるために、ブラッターにその振動をストレス無く移行させるものなのです。一般には低レベルの真空度においてもブラッター上の空気中の堅い塵がソフトなレコード面を損傷するので、ヴァキュームスタビライザーの効果は十分理解されていても、その使用については敬遠されています。カペラ2のヴァキュームスタビライザーは独特な方式によって、オーディオ帯域よりも更に低い低域でレコード本体を安定させます。ヴァキュームレベルを必要以上に高めないように、システムに調整可能な減圧装置をつけてあり、これによって真空レベルを約2 p.s.i.に維持しています。この低真空レベルと、ビニールよりはるかにソフトなブラッター表面によってレコードが保護されるわけです。そのため、粉塵があるところはその部分のみの極地的なブラッター表面の変形が起こり、粉塵分子はレコード表面ではなく、ブラッター内部に一時的に包括されます。慣性イナーシャは大きく、スピードコントロールも非常に安定し、レコード本来の究極的な音の明瞭度、低域のスピード感とより低い帯域での反応、ダイナミックパフォーマンスを高度なレベルで再現します。

スピンドルベアリング

ベースモデルではハイドロダイナミックオイルフィルムベアリングですが、芸術的ともいえるハイドロスタティックエアベアリングもオプションで用意されています。ダイナミックオイルフィルムのロードベアリング性を利用したロックポート独自の設計で、研磨されたステンレスシャフトの回転は独自のデルリン製スリーブと一体となって、シリコンオイルを移動させます。それはスリーブ内の軸状の貯油槽からシャフトの回転運動によって動的に圧力がかかるベアリングのロードキャリーゾーンに送り出され、ラジアルスピンドルサポート（螺旋状のスピンドル支持）がなされます。伝統的なスリーブベアリングとは異なり、ハイドロダイナミックベアリングはハーフスピード回転の逆効果も無く、金属同士の摩擦がないので





◆トーンアーム=スタティックバランス型リニアトラッキングアーム◆フォノモーター駆動方式=ベルトドライブ◆回転数=33-1/3、45rpm◆ターンテーブルプラッター=30.5cm径、アルミニウム・粘弾材・アクリル3層構造◆寸法/重量=W610×H178×D508mm/56.7kg◆コンプレッサー部必要電力=約50w・100vAC専用エアホース15m付属

伝統的なシャフト、スリーブベアリングに比べ非常に静かです。ベアリング軸の負荷はデルリンパッド上に位置した磨き上げられたルビー球によって支持され、シリコンオイルに浸かっています。回転精度と静粛性は他のスピンドル、ベアリングデザインに比べ比較にならぬほど優れています。

カベラ2には、ヴァキュウムスタビライザーとエアーベアリングは一体で装備可能です。エアーベアリングスピンドルは圧力軸ベアリングによる高圧ローフロー型ライリー(ノーベル賞を受賞した物理学者)補正ラジアルベアリングで、エアーフィルム安定性に理想的に適合し、動作時の雑音レベルはゼロです。また、螺旋軸状運動誤差は0.005ミクロン以下という非常に厳しい精度で製造されています。バキュームスタビライザーは特にベースの明瞭度と響きが伸びやかになり、その効果は目を見張るものがあります。もちろん、ノイズフロアは低く、ダイナミックインパクトにも優れ、カートリッジは完璧な平面をトレースするので、その効果は計り知れません。

エアーサプライ(オプション)

フル装備のカベラ2にはエアーベアリング用の産業用ヘビーデューティーエアーコンプレッサーが付属しています。このエアーサプライ装置にはヘッドコンプレッサーが二機付属しており、一機は空気を圧縮、供給、他方は真空用です。空気は圧縮され温度が上昇し、さらに湿気を含みますが自動冷却・貯蔵ユニットに送られ、冷却、除湿されると同時に圧力を均一にするためのパルスフィルターが行われます。その後、空気は0.1ミクロンフィルターを通過、高精度レギュレーターにより30p.s.i.の圧力(30lbs/1平方インチ)でスピンドルベアリングに送られます。この調節されたノンパルス高圧乾燥空気はスピンドルベアリングの性能を最高度に得るために非常に重要なのです。連続と連なるニードルバルブを通してレコード圧着装置を確実なものにするために、ヴァキュウム装置はレコードに最適な圧力を調節します。エアー発生装置はターンテーブルからリモートコントロール出来、大変便利です。

T7000アーム

ロックポートを一躍有名にした処女作、システム「シリウス」に使用されているアームの構造を基本としています。この十年間ロックポータは、レコードプレーヤーとアームのシステムデザインを洗練することに情熱を傾け、機能美に溢れ、素材研究、超精密切削加工、最先端技術の応用によりクラ

フトマンシップの結晶とも言えるシステムを発表してきました。T7000は、非常にユニークでレコードプレーヤーのパフォーマンスを最高レベルに引き出す作品です。

T7000のエアーベアリングはミクロン以下の機械許容誤差という非常に厳しい製造過程を経ており、他と一線を画す高精度と安定性を備えたベアリングです。例えば、多数の空気穴によってエアーフロートさせる従来のエア・ベアリングアームは、中央硬度と自体の共振点が低いためにベアリングは動作軸に対するコントロールが苦手でベアリングというよりはサスペンションとして働いてしまいます。これに対しT7000のエア・ベアリングは、接続部分に独自のフロー特性を持たせた高圧空気を使用しているため、非常に高い中央硬度(従って素晴らしい幾何学的精度)、低い流動性、独特の安定性、そしてゼロ摩擦を実現した理想のエア・ベアリングアームです。リニアトラックアレルギーの方々にも是非お聴きいただきたいアームです。

アームパイプ

T7000のアームパイプは粘性と柔軟性を備えたダンピング層の両側に方向性を維持する4個のカーボンファイバーを装備、また、軸方向硬度と自己ダンピングとを最適にするカーボンファイバーとエポキシ混合材のサンドイッチ構造で、非常にダンピング性に優れたアームです。さらに、粘性と柔軟性を持つダンピング層をカーボンファイバーの間に加えることで、外側アームパイプの混合材は事実上不活性となります。第二のインナーカーボンファイバーパイプが外側パイプの内側にありその効果を高めます。これらのパイプ間には異なるダンピング材を注入し全体的には一対の抑制モードダンピングとなり、カーボンファイバー、エポキシ材、ウレタン材の3層構造となっています。複雑な構造で、共振によるカラーションとアームパイプの共振屈曲による変則位相(特に低音域)を大幅に減少させ、適切な振動消散経路の確保も同時に行いフォノ・カート

リッジから発散される余分なエネルギーを逃がし、カートリッジ本来の音質を引き出します。T7000は航空宇宙科学の気圧ラミネート技術を応用し鋼の硬度を持ちつつも、重量は従来のアルミパイプの約半分という軽量高剛性アームです。

アーム幾何学

T7000は、ベアリングピボットポイントが、レコード表面と同一平面上になるように設計され、サイドバンド、FM歪み、不必要な接触、チャンネル間フェーズエラーなど、レコード表面をたどるときに発生する水平、垂直方向のアームの振れからおこる諸問題を解決しました。カウンターウェイトは、レコード表面の垂直不規則性に依りてトラッキングフォース変調を減衰するように、レコード表面と同一水平面にあります。インサイドフォースの問題からの解放、ゼロトラッキングアングルエラー、完璧なカートリッジ性能を引き出すことなどリニアトラッキングの長所をすべて備えた設計です。トラッキングの垂直アングルは、精密に設置されたスライドとアンチバックラッシュノブとによって、演奏中でも調整することができます。アームの実効質量およびカートリッジサスペンションの追従によっておこる基本的なアーム共振は、どのアームにも存在しますが、振動消散係数を適切に調整することにより共振の増幅は実質的に取り除くことができます。同時に、振動消散における粘着性プロパティは、どんなクランピングシステムでも緩和できない、レコードの偏心や垂直の不規則性をアームが追従することを可能にします。アームの基本的共振をゼロに近づけたということも、T7000が誇れる特質のひとつです。

アームハウジング

アームシステムを構成するハウジング及び、分離型の振動消散経路は、アルミ合金の巨大なビレットから削り出されています。T7000を支える、新設計のベアリングマウント、アームクランプ、カウンターウェイトは、アルミニウム合金の単一ビレットから削り出され、各構造がボックスビーム

あるいは限界フレーム効果を生み出す統合的な構造物のウェブによって分離されています。その結果T7000の稼働部分は、従来の製品より20倍近くも剛性が高まり(当社比)低域及び細部の厳密な再現が大きく改善されました。構成部品はすべて同様に強固なアルミ合金から製造、手の掛かるハンドライン仕上げを行い、現在望み得る最高技術水準で製造されています。キューイングメカニズム、カウンターウェイトは303ステンレス合金による削りだし加工で、輝くばかりにまで磨き上げられています。アームワイヤーは6Nリッツ構成銅線で酸素に触れないため経年変化に強く、高品質RCAコネクタターミナルブロックに終結します。

今日の微細なカートリッジから上質な演奏を引き出すには、無限に調整可能であるということも重要になってきます。アジマス、オーバーハング、VTA、トラッキングフォース、ダンピングなどのアームの調整はすべて相互干渉を排除する設計です。ユーザーがカートリッジの性能を追い込み意図した通りの音質を追求するように、シンプルでな操作、構造となり、アーム調整は安定して行えるので楽々微調整ができ、とてもユーザーフレンドリーです。

このようにT7000アームシステムは、優れた性質を兼ね備えています。構造的な統合性、低いムービングマス、ゼロに近い摩擦、幾何学的精密性、共振コントロール、容易なセットアップ、安定した微調整など優れた特徴を有しています。カベラ2には今までの伝統的なレコードプレーヤーにはみられない最新の物理工学に基づくテクノロジーが応用されています。このプレーヤーは決して安いものではありません。しかし、その効用を評価するレコードファイルの方々にとって、ロックポートシステムは、優れた機能的のみならず審美的な美しいオブジェクトとしても魅力的で、アナログオーディオの魅力を最大限に引き出す望み得る最高級の製品と自負しております。

*このカタログに記載の仕様、規格及び外観等は改善のため予告無く変更することがあります。あらかじめご了承ください。
*この製品を正しく安全にご使用いただくため、必ず付属の「取扱説明書」をよくお読みください。